

『議会基本条例』全議員懇談会(第2回) 概要メモ

担当：中山、漢人

開催日時：2012年2月13日(月) 17:00～

開催場所：第一会議室

進行：宮下議会運営委員会副委員長

○経過説明(森戸議会運営委員会委員長、宮下副委員長)

資料：①全議員懇談会(第1回)概要メモ、②条例策定ニュース no.1

③1/17 議会運営委員会「今後の議会運営委員会の進め方について」

○意見交換の中で出された主な意見

*今回は「議会報告会」の開催についての意見交換が中心でした。

- ・議会報告会は、議会運営委員会でパイロット的にやるべき。ルール作りが必要。
- ・質問がきたら、どうするか。
- ・参加者との問題認識がかみ合わないこともある。きちんと市民に説明する必要がある。ごみ問題などテーマ別に分けてはどうか。
- ・インターネット中継があるのに必要か。
- ・何回かやっていると固定化してくる。多くの人に知ってもらい、聞いてもらうなどのアイデアはないか。
- ・地域の議員で行ってみてはどうか。意見を市民の方から伺うだけでもいいのでは。
- ・試行的にして、限定した話題にしてはどうか。
- ・客観的に事実を報告するためには、議会報告会は難しい。
- ・客観的な報告が前提だが、市民は杓子定規なことは聞きたくないのではないか。
- ・インターネットが見られない、特定議員の報告会に行かない人には開催自体が新鮮ではないか。
- ・立場を超えて客観的に伝えるにはどうしたらいいか。
- ・客観性の部分と主観性の部分とを分けたほうがいい。
- ・先進市議会では回を重ねる度に変わっている。顔と顔を合わせて丁寧に説明することで、実は苦労している、悩んでいるなど、お互いのやり取りのなかで理解してくる。
- ・議会運営委員会での検討状況を報告し、意見交換の場を設けてはどうか。
- ・議会の運営や仕組みなどの説明から入ればいい。各会派の考え方など無理せずやってみてはどうか。
- ・踏み込んだ問題は難しい。議会は何をやっているのか理解してもらい必要がある。
- ・情報提供のために説明できる力を上げ、市民と理解しあえるよう努力が必要。
- ・市民が関心のあるテーマで実施し、担当委員会が報告してはどうか。
- ・実施の方向性は一致。詳細は議会運営委員会で検討してほしい。

○確認など

- ・市民懇談会 3月25日議員研修会後に開催、全議員参加とする。
- ・議員研修会の宣伝方法について 各会派で検討することとした。